



## ●全国大会'22 招待講演はジブリ

初日の6/25（土）13時から、三鷹の森ジブリ美術館の学芸員、伊藤望氏による招待講演「アニメーションの色彩～スタジオジブリ作品を彩った保田道世氏について～」を企画しました。

80年代以降、アニメーションの“色”は登場人物の印象を決めるだけでなく、実写映画や演劇における衣装や照明の役割も担い、時間帯、季節、空間、素材、人物の心理をも表現し、その役割を広げていきました。

色彩設計や色指定という重要な仕事が存在するアニメーションの色彩表現と、その魅力に迫る興味深いテーマです。

◆会期：6/25（土）・26（日）

◆会場：ハイブリッド開催

〈現地参加〉椋山女学園大学 星が丘キャンパス

〈オンライン参加〉 Zoom 利用

◆参加申込：6/19（日）×切

<https://www.color-science.jp/zenkoku2022/#sankatouroku>

◆招待講演：

<https://www.color-science.jp/zenkoku2022/index.html#kouen1>

（全国大会実行委員会・広報）

## ●白藤（白花藤）と色名との区別

歌人・窪田空穂（うつぼ）（1877～1967）の作品に「若葉まじり 群がり咲ける 白藤の花の乱れの日には静かなり」とあるが、新緑の中に見事にゆらりと美しく垂れ下がる白藤が、連休中に観た白藤（白花藤）と重なった。

伝統色名に「白藤色」がある。「藤」の付く色名の代表に「藤色」があるが、その明るい青紫の色を更に淡く薄い明るい色、「淡藤」「薄藤色」などがある。「白藤色」は、更にこういった色名の色より、明るく白に近い淡い紫～青紫である。『かさねの色目』の一部であるが、「藤」「藤重」、そして「白藤」などがあり、「藤」が付く配色法が平安時代からある。「白藤」（しらふじ）は、表：薄紫裏：濃紫の組み合わせであるが、藤の花には白色種もあり、色目の配色、和の色名の色は、全体が白い藤の花（画像）の色ではないことを意識したい。白藤（白花藤）の凜とした清楚な姿が印象深い。（瀧川優子）



## ●季語集の中の色名ー7

### ●盛夏の季語（続き）

青蔦（あおづた）：蔦の青葉。

青芦（あおあし）：青々と成長した葦。

青芝（あおしば）：庭や公園の青くて美しい芝生。

青芒（あおすすき）：未だ穂を生じない芒。

紅蜀葵（こうしょくき）：楓のような葉をもち紅色の大型の美しい花が咲く。

紫蘇（しそ）：紫の鋸葉をもつ、梅漬けなどに用いる。

### ●晩夏の季語

白桃（はくとう）：白い桃。最も見事で味も良い。

青柿（あおがき）：梢に形をなした青く固い柿の実。

青葡萄（あおぶどう）：未だ紫いろにもならない粒も小さい葡萄。

青林檎（あおりんご）：未だ赤味を帯びていない林檎。

青胡桃（あおくるみ）：木の上の緑色の胡桃の実。

青無花果（あおいちじく）：無花果のようやうく整った青い実。

青唐辛子（あおとうがらし）：唐辛子の青いもの。（永田泰弘）